JAC創立１００周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北海道支部	(2)記載者氏名:	新妻　徹	会員番号:	5868	事務局整理記入欄			北海道－133
分水嶺区分:	H211厚雲峠～P540			(3)山行日:	2005年	3月	20日	(4)天候	晴後風雪 :積雪 m

(5) 参加者氏名および会員番号

				サポート要員氏名および会員番号			
新妻　徹	5868						
		計	1名			計	名

(6) 山行記録・位置確認 (出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して) ・所要時間・道の状況

ｺｰｽ概略:	山蕗駐車公園→H211厚雲峠→P540→P540NWコル→山蕗駐車公園													
ｱﾌﾟﾛｰﾁ:	札幌→中山峠→八雲→落部→ (R67) →山蕗駐車公園　(往復)													
地点ｺｰﾄﾞ		2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	山蕗駐車公園	狗神岳	140	23	0.5	42	2	58.7	271		7:30		10
分水嶺到達点	P540	狗神岳	140	22	46.5	42	2	32.3	542	12:10	12:30	B-4	9
H211	厚雲峠	狗神岳	140	23	11.3	42	1	57.0	420	15:30	16:30	B-4	10
分水嶺離別点	P540NWコル	狗神岳	140	22	40.7	42	2	36.5	468			B-4	10
歩行終了点	山蕗駐車公園	狗神岳	140	23	0.5	42	2	58.7	271	18:00		B-4	
										総歩行時間 (休憩時間を除く) :			8時間00分

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点ｺｰﾄﾞを記入してください	点名	等級	方位	保存状況	特記事項

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

山蕗トンネル(1998年3月完成、全長982m　幅員6.5m) は地図「狗神岳」(昭和60年6月30日発行) に記載されていないので、八雲側
トンネル入口の上でＧＰＳ測定をした。
山蕗駐車公園 (WCあり) とR67の距離は約300mである。

(9) 水および植生に関連した特記事項

R67から中央分水嶺への急斜面 (トンネル北口～P540～P510NW面) は約2kmに渡って続いている。
底雪崩が発生しており、笹が露出する残雪の亀裂が随所に見られる。

(10) その他の特記事項

中央分水嶺への急斜面の登りは、要注意の連続で厳しかった。
3/19～21の全装備は、73歳の単独行には重く、3月20日午後の天気悪化で引き返した。
厚雲峠の正確な位置は未確認。
P540NWコルにルート旗をつけたが、446肩の東面下に山蕗駐車公園がある。

(11) 写真の添付: (有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: